

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 22141

区分	補助金・交付金	担当課	環境課	作成日	平成24年5月25日	
事業名	猫不妊去勢手術費助成金		開始年度	平成元年度	予算科目	4.1.4.1.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり	章	第2章 総合的な環境対策
節	第1節 環境対策の推進	基本施策	4 公衆衛生の向上
取組みの基本方向		(1)動物愛護思想の普及をはかるとともに関係機関と連携したペット飼い主への指導の徹底につとめます。	
根拠法令等	愛川町猫不妊・去勢手術費助成要綱		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	野良猫や捨て猫等の増加及び猫による被害を防止し、猫の不妊・去勢手術を普及させるため、手術を受ける猫の飼養者に対し、その費用の一部を助成している。		
内容・方法 (何を行っているのか)	猫の不妊・去勢手術を行った飼い主から、「愛川町猫不妊・去勢手術費助成申請書」を提出していただき、手術費用の一部を助成している(不妊／一頭につき5,000円、去勢／一頭につき3,000円)。なお、本申請書には、不妊・去勢手術を実施したこと及びその手術費を支払ったことを証明する書類を添付していただいている。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の 節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『環境対策の推進』について 「満足」と感じる住民の割合 (%)		31.4		46.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果 指標	助成件数(件)	増	猫の飼育頭数については全国的に増加傾向にあるため、助成件数(不妊・去勢手術の件数)についても増加させていくことが必要である。	計画値		177	179	207
				実績値	179	179	207	
				達成度※自動計算		101.1	115.6	
活動 指標	町の広報紙に本助成制度の記事を掲載する。	増	現在、町のホームページに本助成制度に関する記事を掲載しているが、広報紙には定期的に掲載をしていない。	計画値		0.0	0.0	
				実績値	0.0	0.0	0.0	
				達成度※自動計算		-	-	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度		基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A) 事業費(円)		761,000	761,000	869,000	521,000
(B) 概算職員数(人)		0.100	0.100	0.100	0.100
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算		830,000	830,000	830,000	830,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算		1,591,000	1,591,000	1,699,000	1,351,000
単位当たりコスト※自動計算		8,888.3	8,888.3	8,207.7	
財源内訳(円)	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他			
	一般財源※自動計算	1,591,000	1,591,000	1,699,000	1,351,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目		判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性	直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高 高	A
	必需性	当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している		○	A
	基準年度と比較して成果が向上している		○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している		向上 成果 率 115.64%	B
			縮減 費用 率 106.79%	
総合評価 ※自動判定			良好に実施できている	

5. 特記事項

--

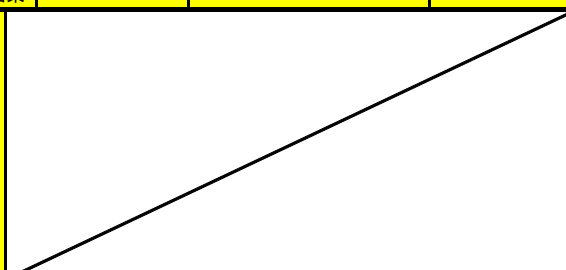
6. 1次評価(担当課)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	全国的に猫の飼育頭数が増加傾向にあるため		
今後の方向性	「広報あいかわ」もしくは「お茶の間通信」に、本助成制度の記事を定期的に掲載する。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、今後の頭数の増加に備え、補助率を設定するなど、制度の見直しを検討すること。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施しながら、補助件数の動向を踏まえ、今後の頭数の増加に備えた補助率の設定や制度の見直しについて研究する。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、今後見込まれる頭数の増加に備えた制度の見直しを研究するものとする。		